

2021年度事業報告書

特定非営利活動法人 豊中市青少年野外活動協会

1. 事業期間 2021年4月1日～2022年3月31日

2. 事業の成果

● 総括

新型コロナウイルス感染症により世界は混沌を極め、あらゆる価値が絶対でなくなりつつある。

人も同じく、正否や優劣といった基準では無く多様性を尊重し受け入れる世の中になり、協会としても今まで以上にキャンプに参加する全ての人に、自然体験と集団生活を通して「自然を愛する心、子どもを愛する心」を育む一助となるよう引き続き活動していく。

前年度もいくつかの事業が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により中止となったが、柔軟な対応をして多くの事業を開催することが出来た。クラスター感染はもちろんのこと小規模な感染連鎖も引き起こさずに運営出来たことは、大きな自信となった。

「わっぱる」の運営においては職員が今までの6人体制から3人体制となり、激務が予想されたが非常勤職員やサポートスタッフなど、たくさんの人に支えられ滞ること無く運営することが出来た。事業においてもほとんどの事業が定員を上回る申し込みにより抽選となり盛況に開催することが出来た。

また、多くの新人カウンセラーを獲得することにも成功し、募集時期や媒体の選択など効果的に行えた。研修においても綿密なカリキュラムと徹底したスケジュール管理によりカウンセラーの資質向上と事業参加率の向上に繋げ、人手不足を解消することに成功した。

会議や室内研修等も早い段階でオンライン開催、対面での開催、ハイブリッドでの開催とシステムを整え、オンラインで参加できなくても録画をオンデマンドにて共有出来るようにした。協会のスケジュール管理や資料管理などもクラウドサービスを導入し各業務がスムーズに遂行できるように構築した。

● 豊中市からの受託事業及び協会主催事業

豊中市からの受託事業として、民間事業者とのコラボレーション企画事業を2本実施し、わっぱるの新しい魅力開発に努めた。また、従来の利用者層以外の方に参加してもらうことで、わっぱるの知名度の向上と、新たな利用者層の開拓に取り組んだ。

協会主催事業は、わっぱる主催事業として実施した。

● カウンセラー育成

野外活動及びグループワークを実践しながら子どもと関わることができる、優れた指導者の育成を目的に様々な取り組みを行った。昨年度に引き続き、各種研修や新人の募集活動において、会議システム「zoom」等のオンラインサービスを積極的に活用した。また、コロナウイルス感染症対策を十分に行ったうえでの、対面での活動も重視し、わっぱるを会場とした日帰りや宿泊の研修も2年ぶりに実施した。

理事によるオリエンテーションや面談、新人向けの説明会、カウンセラー会による定期的実施するミーティングなどを通じて、協会の活動や方向性を浸透させることや、カウンセラー同士の関係性の向上にも取り組んだことで、多くの新人が入会するとともに、継続率も高まった。

● 「豊中市立青少年自然の家 わっぱる」の管理運営

指定管理者として、5年間を通じた基本テーマである「人と人・人と自然が繋がる わっぱるの森」を掲げて、第3期・1年目の運営を実施した。協会のマンパワーをわっぱるの運営に集約し、より多くの人に関わってもらうことで、安心・安全な運営を実施した。

新型コロナウイルス対策としては、協会ガイドライン及び利用対応マニュアルに則して、感染拡大防止に努めながら施設利用を受入れた。これまでに、わっぱるでクラスター発生などは起こっていない。

また、古くてもきれいな安心感のある施設を目ざし、こまめな点検、清掃、消毒を実施した。

利用に関する取り組みとしては、条例の改正による変更点（2021年4月1日～）の告知に努めました。これまでの利用団体を中心に、利用料金制の導入と料金の改定、冬季（1・2月）休所、週2日（基本月曜・火曜）休所、1人から利用可能、予約が1年前から（市外は半年前から）可能、などの変更点にご理解を求めています。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大により、団体利用のキャンセルが続く中、学校利用を増やす取り組みや、家族や少人数のグループが利用しやすいように、家族単位のプログラム提供や、家族単位で使いやすいエリア整備などに注力した。ホームページのリニューアルをはじめ、ブログやSNS等を通じた発信も継続的に行なった。

主催事業に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためのマニュアル等を整備して、本格的に再開し、子どもたちをはじめ、いろいろな層に自然との繋がり、人との繋がりを感じてもらうことができた。

3. 事業の実施状況

(1) 野外活動等に関する事業

① 協会主催事業

2021年度においては、協会主催事業は実施していない。

② 民間企業とのコラボ事業 実施全2事業

NO	事業名 対象 定員	実施日	参加費	参加数 (申込)	スタッフ数	コラボ先企業 プログラム
1	アウトドア 家族・一般 300名	6月12日(土) 日帰り	—	—	—	吉本興業(株) 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
2	イセガマキャンプ ひとり親家庭の小学生 を含む家族 80名	7月22日(木・祝) ～23日(金・祝) 1泊2日	大人 5,000円 小中学生 3,000円 幼児無料	29名 (36名)	イセ社4名 野協12名 内Co8名	(株)イセセントラル 川遊びやテント泊、山登り、メ スティンでカレー作り、ピザづくりな ど
3	ルンジワークキャンプ 家族・グループ 15組75名	2月26日(土) ～27日(日) 1泊2日	小学生以上 2,500円 小学生未満 2,200円	11組 38名 (12組 40名)	平田タイル社6名 野協12名 内Co2名	(株)平田タイル わっぱるの施設整備を 実施、タイルアート作品で館内を 装飾、受付機の制作

(2) 野外活動等の指導者育成事業

① 指導者の推移

所属するボランティア（キャンプカウンセラー）の人数は以下のように推移している。

2021年度	71名	2020年度	60名	2019年度	52名
--------	-----	--------	-----	--------	-----

※ いずれも年度末（3月31日時点）での登録者

② 指導者への研修実施

以下の研修を実施した。

日程	会場	内容	参加カウンセラー
4月4日(日)	わっばる	新年度の目標設定	16名
5月12日(水)	ハイブリッド実施 ※	基礎研修①(組織キャンプ、カウンセラーとは等)	13名
6月5日(土)	わっばる	テント設営、野外炊事、ハイク等	14名
6月16日(水)	ハイブリッド実施 ※	基礎研修②(フックアップについて)	16名
7月3日(土) ～4日(日)	わっばる	救急法、野外炊事、登山下見、キャンプファイヤー等	20名
7月7日(水)	ハイブリッド実施 ※	基礎研修③(レクリエーションについて)	18名
7月17日(土)	中部保健センター	コンプライアンス(個人情報、ハラスメント)について	20名
9月11日(土)	わっばる	夏の振り返り、火起こし、たき火等	10名
10月10日(日)	ハイブリッド実施 ※	基礎研修④(3Dについて)	5名
11月7日(日)	ふれあい緑地	カーニバル研修 (OB家族を対象にしたフックアップ実践)	27名
11月20日(土)	中央公民館・豊島公園	青少年指導者研修会 (野外フックアップ体験)	3名
3月5日(土) ～6日(日)	わっばる	テント設営、火起こし、キャンプファイヤー等	14名
3月9日(水)	中央公民館	外部講師による研修① (フックアップの立て方について)	6名
3月16日(水)	中央公民館	外部講師による研修② (フックアップの立て方について)	5名

※ハイブリッド実施：カウンセラーームにおける対面と zoom 会議による遠隔参加

③ カウンセラーへの面談

A) 新人オリエンテーション

2021 年度入会者向けに、協会の概要や活動予定、組織キャンプについてのオリエンテーションを行った。
(2回実施。4月に2名参加。9月に9名参加。)

B) パーソナルミーティング

年度末にカウンセラーへの面談(パーソナルミーティング)をオンライン会議システム「zoom」にて実施。1年の振り返りと今後の目標、協会への要望などについて話し合った。1月～2月に合計11回(32名)実施。

④ 新人カウンセラー獲得のための活動

オンラインを中心に以下の取り組みを行い、25名のカウンセラー登録があった。

A) オンライン説明会

zoom を活用して、入会を検討している方向けに団体概要や活動内容の紹介を行った。(1回 1.5～2時間程度)

2021 年度は合計で13回実施。20名の参加があった。

B) その他のオンラインでの取り組み

- 団体ホームページ内の募集ページをリニューアル
- ボランティア紹介サイトへの登録。有料サービスを使って、露出度を上げた。
- 「Instagram」において活動の様子を発信。(@yakyoco)

C) 現役カウンセラーに友人・知り合いへの紹介依頼

⑤ カウンセラーミーティング

カウンセラー会が主催。主にオンラインで実施。1～2年目のカウンセラーを対象に、茶話会のような形で、活動で悩んでいること、疑問に思っていることに対して先輩カウンセラーが回答、また、プログラムの実践等を実施した。9回実施。延べ94名の参加があった。

⑥ その他の取り組み

育成指導者の事業傷害保険料加入、ユニフォームの新調、共通物品の購入、交通費の費用弁償、謝礼金支払い等を実施。

(3) わっぱる管理運営事業

① 職員配置

豊中市立青少年自然の家の適切な管理運営を行うため、以下のように職員・スタッフを配置した。

【職員・スタッフの内訳】

雇用形態	職名	職員数	担当する業務内容	役割
常勤職員	所長	1	指定管理業務の企画立案と運営、主催事業の企画立案、利用料他収入管理、労務管理、豊中市との連絡調整業務、職員の研修計画策定	業務運営責任者
常勤職員	指導員 施設担当	1	施設管理、外注契約指導・履行確認、安全衛生管理、物品調達、利用者対応、施設管理、備品管理、主催事業担当	施設管理責任者
常勤職員	指導員	1	利用者対応、施設管理、個人情報管理、ホームページ更新、SNS等情報発信	利用者対応 業務運営
常勤職員計		3		
副理事長	運営事業 部長	1	指定管理業務全体の統括	統括責任者
理事	職員	1	森の整備計画の策定と実行、利用促進策の企画・運営、利用者対応、施設管理	森林整備責任者
非常勤職員 (通年)	職員	1	利用促進策の企画・運営、利用者対応、施設管理	プログラム開発担当 業務運営
非常勤職員 (繁忙時)	サポートスタッフ	3	利用者対応、整備・清掃等作業	業務運営補助
事務局職員	事務局 職員	1	各種メンテナンス契約事務、利用者対応補助、施設管理補助	業務運営補助
理事	財務担当	1	経理業務、労務管理(協会)	労務管理責任者 経理業務責任者
非常勤職員計		8		

② 自然の家運営関係

A) 利用状況

指標	最高評価 サービス水準	確保すべき サービス水準	2019年度	2020年度	2021年度
利用団体数(団体)	340	280	296	196	309
利用者数(人)	16,000	13,000	13,231	4,172	5,203
利用率(%)	30	15	23	25	39
主催事業実施数	15	10	21	9	16

※確保すべきサービスレベルと最高評価サービスレベルは、豊中市と合意したサービス評価基準(SLA)による。

B) 主催事業実施状況

5月のカレー作りは中止になったが、以降の事業はすべて、感染拡大防止対策をした上で実施した。多くの事業において、定員を上回る応募があり、野外活動・自然体験の必要性が高まっていることを感じた。

区分	事業概要	事業数
A	わっぱるキッズ事業（小学生対象の日帰り・宿泊自然体験）	7
B	オープンフェスタ（家族対象の日帰り自然体験）	3
C	たき火 day（家族対象の日帰り自然体験）	1
D	指導者育成・交流事業	3
E	社会課題解決型事業	2

【主催事業一覧】

NO	区分	事業名 対象 定員	実施日	参加費	参加数 (申込)	スタッフ (内 Co)	プログラム
1	A	カレー作り 小学1～6年生 各日20名	5月22日(土) 5月23日(日)	—	—	—	新型コロナウイルス感染 拡大のため中止
2	A	川の生きもの観察 小学1～6年生 各日20名	6月19日(土)	6,000円 (現地5,000 円)	20(56)	9(6)	もんどりの制作と仕 掛け、生きものを 観察
			6月20日(日)		20(59)	11(8)	
3	D	ワークキャンプ	6月25日(金) ～27日(日) 2泊3日	なし	44(44)		BS・GS・市こ連か らも参加。BBQエリア の柵設置、川原 整備、ハイキング道 補修など
4	A	高学年キャンプ 小学4～6年生 40名	8月7日(土) ～9日(月・祝) 2泊3日	18,000円 (現地17,000 円)	36(46)	Co15 高・低共通 スタッフ14	深山ハイキング、野 外炊事、野宿体 験など
5	A	低学年キャンプ 小学1～3年生 40名	8月8日(日) ～9日(月・祝) 1泊2日	13,000円 (現地12,000 円)	35(55)	Co16	川遊び、ウォークラ イ、キャンプファイ ヤなど

NO	区分	事業名 対象 定員	実施日	参加費	参加数 (申込)	スタッフ (内 Co)	プログラム
6	B	夏の家族 day 家族・グループ (事業計画に 追加で実施) 各日 60 名	8月 21 日(土)	大人 2,000 円 子ども 1,000 円 未就学児 300 円	33(50)	15(2)	ピザ作り、クワト体 験、ウォークリーなど 小学生キャンプの予 備日程で実施 10 日前に SNS で 告知、申込受付
			8月 22 日(日)	大人泊 6,000 円 子ども泊 4,000 円 未就学泊 500 円	53(58)		
7	D	ワークキャンプ	9月 4 日(土) ～5 日(日) 1泊 2 日	なし	39(39)		BS からも参加アール 清掃、草刈り、小 屋の外壁補修など
8	E	1-スチャレンジ キャンプ 困難を有する若者 10 名	9月 22 日(水) ～26 日(日) 4泊 5 日	8,000 円	10(10)	キャリア 10 野協 7 (内 Co1)	一般社団法人キャ リアブリッジと共同で 実施 困難を有する若者 の就労支援策とし て、4泊 5 日の整 備事業とキャンプを 体験 やすらぎ広場開拓
9	A	ハイキング 小学 1～6 年生 各日 20 名	10月 23 日(土)	6,000 円 (現地 5,000 円)	19(28)	9(5)	地図にないコースを 歩くハイキング、マステ ィンでラメづくり
			10月 24 日(日)		20(51)	8(4)	
10	B	秋のオープンフェスタ 家族・グループ 各日 60 名	11月 13 日(土)	大人 2,000 円 子ども 1,000 円 未就学児 300 円	72 (428)	31(12)	ピザ作り、火おこ し、ウォークリー、クワ ト体験など
			11月 14 日(日)	大人泊 6,000 円 子ども泊 4,000 円 未就学泊 500 円	67 (284)		
11	D	青少年指導者 研修 指導者 各日 15 名	11月 20 日(土) 豊島公園	2,000 円	10(10)		森の保育士・山口 氏が講師 自然に 触れる体験と、対 話から関わりにつ いて考える 豊島公園とわっ ぱるで実施
			11月 27 日(土) わっぱる	5,000 円	12(12)		
12	A	クリスマスキャンプ 小学 1～3 年生 40 名	12月 11 日(土)～ 12 日(日) 1泊 2 日	13,000 円 (現地 12,000 円)	40(68)	33(23)	ピザ作り、キャンドル ファイヤー、ウォークリー など

NO	区分	事業名 対象 定員	実施日	参加費	参加数 (申込)	スタッフ (内 Co)	プログラム
13	A	クッキング 小学 1～6 年生 各日 20 名	1 月 15 日(土)	6,000 円 (現地 5,000 円)	17(30)	14(10)	クッキング 作り 焚き火や雪遊びな ど
			1 月 16 日(日)		20(31)	8(5)	
14	B	冬のオープンフェスタ 家族・グループ 各日 60 名	1 月 29 日 (土)	大人 2,000 円 子ども 1,000 円 未就学児 300 円	34 (149)	19(3)	みそ作り、たき火、 山仕事体験、クラ フト体験など
			1 月 30 日(日)	大人泊 6,000 円 子ども泊 4,000 円 未就学泊 500 円			
15	A	冬の森キャンプ 小学 4～6 年生 20 名	2 月 11 日(金・祝) ～12 日(土) 1 泊 2 日	15,000 円 (現地 14,000 円)	14(22)	講師 3 野協 10 (内 Co8)	落葉でシェルターを作 って寝る、夜の森を 1 人で歩く、グル ープで火起こし
16	C	たき火 day 家族・グループ 7 組 35 名	2 月 19 日(土)	大人 1,000 円 子ども 500 円	3 組 5 名 (4 組 9 名)	4(0)	焚き火台や薪ストー ブを使用して焚き 火
17	E	防災キャンプ 家族・グループ 40 名	3 月 12 日(土)～13 日(日) 1 泊 2 日	高校生以上 8,000 円 中学生以下 6,000 円 3 歳未満 500 円	19(35)	講師 1 野協 12 (内 Co2)	自然災害や緊急 時の避難所開設 のシミュレーションや、非 常食の試食など 東日本大震災時 に避難所の責任 者を務めた吉田氏 が講師 地域防災グループ で参加もあり

C) その他の活動

スリーピングシーツの提供、飲料や薪等の物販、クラフト、プログラム指導（有料）などを実施した。

③ 管理関係

A) 施設管理の外部委託状況

以下の業務を外部業者に委託した。

- 施設警備
- 食堂運営、清掃業務
- 自家用電気工作物保守点検
- 消防設備機器保守点検
- 浄化槽設備維持管理

- 給湯用ボイラー保守点検
- 暖房用ボイラー保守点検
- 水質管理機器保守点検
- ろ過装置保守点検
- 水質検査
- ごみ処理
- 天体望遠鏡保守

B) 施設管理に関する実施項目

以下の施設管理を実施した。

- BBQ エリアの整備（4月）
- 川原エリアの区画整備（6月）
- やすらぎひろばの整備（9月・ユースチャレンジキャンプの成果物）
- 都間都の外壁補修（10月～）
- 天体観測室の壁補修（12月・豊中天文協会）
- 宿泊棟手洗い場にタイル貼り（2月）
- 食堂にモザイクアートの設置（3月）
- 1PG 伐採後の木の処理（マキ割り・焼却）（3月）

以下の整備業務を実施した。

- 場内の水路補修、側溝掃除（通年）
- 場内の手すり、階段、看板の補修（通年）
- 破損した道具類の修繕（通年）

C) 業者による整備

- 宿泊棟・管理棟のトイレをセンサーライトに取替（4月）
- 防犯カメラの設置（5月）
- 宿泊棟 1F 洗面所の天井張替（6月）
- 宿泊棟玄関扉の交換（10月）
- 大規模伐木（1月）
- 宿泊棟非常扉の交換（3月）
- 宿泊棟 2F 洗面所の配管修理（3月）

(4) 野外活動等に関する情報提供事業

① ホームページの運営

A) 協会ホームページ

- カウンセラーの募集や協会の活動を広報するため、記載内容に追加や修正を行った。

B) わっぱるのホームページ

- 2021年12月に刷新を行った。
- 活動報告や事業の予告、参加者募集に活用が進むように環境を整えた。

② 情報発信

A) 大阪ガス ガス展

- 協会の活動内容等をインターネットを通じて広報した。

(5) 野外活動等を実施しようとする団体への指導者の派遣

各種団体が計画する野外活動等の事業に関し、当該団体からの依頼により、当協会の事業目的に照らし適当と認められる事業について指導者を派遣した。

- 豊中市立庄内公民館主催イベント
 - ◇ 場所：キッズランドしょうない（2月）
 - ◇ 実施内容：クラフト（木の写真立て）
 - ◇ 参加者： 約 50 名

(6) 野外活動等の調査研究事業

主に、以下のような調査研究事業を行った。

- 野外活動に関する資料の収集として動植物、野外料理に関する書籍等を購入
- 野外活動のフィールド調査として周辺地域のハイキングコースや周辺施設への訪問
- プログラム開発のためクラフトやアウトドアクッキングの情報収集・練習、他施設のプログラム調査

4. 総会の開催状況

(1) 2021年度通常総会（2020年度事業報告・収支報告）

※ 新型コロナウイルス感染拡大のため、書面表決とした。

- 日 時：2021年6月18日（日）
- 会員総数： 32名
- 書面返信者数： 29名
 - うち賛成回答数 23名
 - うち委任状回答 6名
- 内 容：
 - 第1号議案 2020年度事業報告に関する承認の件
 - 第2号議案 2020年度収支報告に関する承認の件審議の結果、賛成多数で可決承認。

(2) 2021年度通常総会（2022年度事業計画・収支予算）

- 日 時：2022年3月21日（日） 10:00～12:00
- 場 所：豊中市中部保健センター
- 会員総数： 32名
- 出席者数： 28名
 - うち会場出席 17名
 - うちオンライン（zoom）出席 2名
 - うち委任状出席 9名

➤ 内 容：

第1号議案 2022年度事業計画書及び収支予算書承認の件

第2号議案 年会費の額 承認の件

第3号議案 決算総会の実施に関する承認の件

審議の結果、賛成多数で可決承認

5. 理事会の開催状況

協会運営、事業予算、事業進捗確認等に協議した。

回数	開催日付
第1回	2021年4月7日
第2回	2021年5月8日
第3回	2021年5月13日
第4回	2021年6月2日
第5回	2021年7月8日
第6回	2021年9月1日
第7回	2021年10月6日
第8回	2021年11月4日
第9回	2021年12月8日
第10回	2022年1月12日
第11回	2022年2月17日
第12回	2022年3月10日

6. 助成金の応募

令和4年度（2022年度）市民公益活動基金（とよなか夢基金）の公募に対し、大人のクラフト及びわっぱるの未来を考えるセミナーを申請し、公開プレゼンテーションを経て助成を受けるに至った。

以上